

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校 長 名		所 在 地	
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番1他 (電話) 042-637-3111	
設 置 者 名		設立認可年月日		代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目 的	ソフトウェア開発からシステム運用まで、ITの分野で活躍するために必要な知識を修得する。専門分野の技術を学ぶ「ITスキル」、各種業界の基礎知識や社会人としてのマナーを学ぶ「ビジネススキル」、他者とのかわり方や自分自身の人間力を高める「ヒューマンスキル」の3本を柱とし、社会で活躍できる自信もつけさせる。						
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
工業	情報科学専門課程	情報処理科	2年(昼)	1,725単位時間 (又は単位)	平成23年文部科学大臣告示第67号	—	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		1200単位時間 (又は80単位)	—単位時間 (又は単位)	—単位時間 (又は単位)	1560単位時間 (又は52単位)	—単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数
240人		333人		5人	12人		17人
学期制度	■前学期：4月1日～9月30日 ■後学期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定		

長期休み	■学年始め ：4月1日 ■夏 季 ：7月21日～8月31日 ■冬 季 ：12月23日～翌年1月8日 ■春 季 ：3月18日～3月31日 ■学 年 末 ：3月31日	卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること
生徒指導	■クラス担任制 （有）・無 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。	課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動 （有）・無
就職等の状況	■主な就職先、業界等 (株)丸井グループ みずほオペレーションサービス(株) (株)第一情報システムズ ■就職率 ※1 91.2% ■卒業者に占める就職者の割合 ※2 79.6% ■その他 （任意） （平成25年度卒業者に関する平成26年4月時点の情報）	主な資格・検定	基本情報技術者試験、 情報活用試験、 MOS、 ビジネス能力検定 ほか
中途退学の現状	■中途退学者 6名 ■中退率 1.8% 平成25年4月1日在学者 342名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 328名（平成26年3月卒業生を含む） 休学者8名を除く ■中途退学の主な理由 進路変更・就職、経済的理由、病気療養・怪我治療 ■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		
ホームページ	URL： http://www.neec.ac.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

IT分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。
またIT分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年9月22日現在

名前	所属	任期
千葉 茂	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
山野 大星	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
倉重 明	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
前原 恵子	トレランスアクト株式会社	平成27年3月31日
濱砂 将和	旭情報サービス株式会社	平成27年3月31日

(開催日時)

第1回 平成26年8月27日 10:00~10:30 13:10~13:30
第2回 平成27年3月27日 10:00~10:30 13:10~13:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

IT分野に関する実践的な実習や演習をおこなうため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。

科目名	科目概要	連携企業等
データベース応用	リレーショナル型データベースの構造や管理機能など活用する技術を習得します。	ニュークリエイト株式会社
卒業制作1	在学中に学習したことを生かしてグループごとにテーマを決め、作品の製作や自由研究を行います。	株式会社 イッツ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新の技術力と技能、人間力を修得する。
新たな技術の研究や理解等は教員においては必須のスキルとなっている。また、社会に出た後は、技術だけでなく人間としての成長を求める企業は多いため、学生に技術に加え、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけてもらうための教員研修の実施・継続が不可欠と位置づける。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月22日現在

名前	所属	任期
金子 英明	セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー	平成27年3月31日
細谷 幸雄	八王子商工会議所 事務局長	平成27年3月31日
森 健介	白梅学園高等学校 副校長	平成27年3月31日
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	平成27年3月31日
古木 勝紀	株式会社バンパー 取締役	平成27年3月31日
石川 仁嗣	医療法人社団健心会みなみ野ハートクリニック 事務長	平成27年3月31日
杉山 一夫	株式会社リンキィディンク 代表取締役	平成27年3月31日
松浦 弦三郎	松浦技術士事務所 代表	平成27年3月31日

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac_report.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac_report.pdf

授業科目等の概要

(情報科学専門課程 情報処理科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			キャリアデザイン1	就職するにあたっての心構えや準備について学びます。	1・前	45	3	○		
○			キャリアデザイン2	就職するにあたっての心構えや準備について学びます。	1・後	45	3	○		
○			コミュニケーション	グループ活動を想定して、人と人とのコミュニケーションの取り方を学びます。	1・前	15	1	○		
○			プレゼンテーション	パソコンを使い、多くの人の前で発表する技術を身につけます。	1・後	30	2	○		
○			ビジネススキル1	就職活動に備え、社会人として身につけるべき「身だしなみ」「言葉づかい」「挨拶」「話し方」などのマナーを習得します。	1・後	30	2	○		
		○	スポーツ実習1	スキー、スノーボードの合宿などを体験します。	1・後	30	1			○
○			パソコンセットアップ概論	在学中に使用するノートパソコンのOS、アプリケーションソフトのインストール、各種環境設定を行います。	1・前	15	1	○		
○			パソコン組立て講座	パソコンの分解、組立て、OSのセットアップについて学びます。また、パソコンのトラブルに対応できるノウハウを養います。	1・後	15	1	○		
○			コンピュータ・情報システム	コンピュータが動作するしくみ、企業でのコンピュータの利用形態や信頼性を考慮したシステム構成について学びます。また、情報処理の基礎理論を通して論理的な考え方を学びます。	1・前	60	4	○		
○			ネットワークとデータベース	ネットワークやデータベースの基本的な知識について学びます。	1・前	60	4	○		
○			システム設計	システムの開発手順に沿って、設計に必要な知識と設計の手法を学びます。	1・後	30	2	○		
○			システム戦略とマネジメント	業務プロセスの改善とプロジェクトの目的や考え方について学びます。	1・前	60	4	○		

○			情報系資格対策講座1	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	1・前	15	1	○		
○			情報系資格対策講座2	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	1・後	90	6	○		
		○	基本情報対策講座1	基本情報処理技術者試験の午前免除試験に向けた対策を行います。	1・後	45	3	○		
		○	資格対策講座1	各種検定資格の対策を行います。	1・前	30	2	○		
		○	特別講座1	様々な講師陣による特別講座を行います。	1・後	15	1	○		
○			プログラミング実習	より実践的なプログラミング技術を学びます	1・後	90	3			○
○			Office実習	コンピュータの基本操作や、基本情報技術者試験の科目にもなった表計算ソフトなどのアプリケーション操作を学びます。	1・前	90	3			○
○			アルゴリズムとプログラミング	プログラムを作るときに必要な考え方や表記法をわかりやすく学び、アルゴリズムについての理解を深めます。また、プログラミング言語を使用して、ソフトウェア制作の基礎を学びます。	1・前	90	3			○
○			Webデザイン	Webページを作成するための基本的なHTMLについて学びます。	1・後	30	1			○
○			データベース基礎	リレーショナル型データベースの構造や管理機能などデータベースの基礎を学びます。	1・後	60	2			○
		○	インターンシップ1	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	1・後	30	1			○
		○	インターンシップ2	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	1・後	150	5			○
		○	校外研修1	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	1・前	30	1			○
		○	校外研修2	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	1・後	30	1			○
○			キャリアデザイン3	就職するにあたっての心構えや準備について学びます。	2・前	90	6	○		
○			キャリアデザイン4	就職するにあたっての心構えや準備について学びます。	2・後	90	6	○		

○		ビジネススキル2	仕事をする際に必要となる電話の応対、ビジネスメール、手紙のマナーなど、社会人に役立つビジネスマナーを身につけます	2・前	30	2	○		
	○	スポーツ実習2	スキー、スノーボードの合宿などを体験します。	2・後	30	2	○		
○		クラウドコンピューティング	クラウドコンピューティングなどの、最先端のIT技術について学びます。	2・前	30	2	○		
○		ソフトウェアデザイン	「システム設計」の授業で学習したことを基に、より具体的な実例を用いてグループ単位でシステム開発の演習を行います。	2・前	30	2	○		
○		情報系資格対策講座3	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	2・前	45	3	○		
○		情報系資格対策講座4	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	2・後	90	6	○		
	○	資格対策講座2	各種検定資格の対策を行います。	2・前	30	2	○		
	○	基本情報対策講座2	基本情報処理技術者試験の午後免除試験に向けた対策を行います。	2・前	45	3	○		
	○	基本情報対策講座3	基本情報処理技術者試験の免除試験に向けた対策を行います。	2・後	45	3	○		
	○	特別講座2	様々な講師陣による特別講座を行います。	2・後	15	1	○		
	○	情報デザイン	情報デザインの基礎となる人間中心設計について学びます。	2・後	30	2	○		
	○	モバイルプログラミング1	モバイル開発環境のもとモバイルプログラミングを学びます。	2・前	60	2			○
	○	モバイルプログラミング2	モバイルアプリの制作方法について実践的に学びます。	2・後	60	2			○
	○	コンピュータネットワーク	モバイルアプリの制作方法について実践的に学びます。	2・後	30	1			○
	○	サーバ構築実習1	Linux系の様々なサーバについて、その構築方法と運用管理方法について演習を通じて学びます。	2・前	60	2			○
	○	サーバ構築実習2	Linux系の様々なサーバについて、その構築方法と運用管理方法について演習を通じて学びます。	2・後	60	2			○
○		Linux実習	OSのインストールから環境設定、UNIXコマンドなど基本操作を学びます。	2・前	60	2			○

○		データベース 応用	リレーショナル型データベースの構造や管理機能 など活用する技術を習得します。	2・ 前	60	2			○
○		オブジェクト 指向プログラ ミング1	プログラミング技法を基に、アプリケーションの作 成を学びます。	2・ 前	60	2			○
○		オブジェクト 指向プログラ ミング2	プログラミング技法を基に、アプリケーションの作 成を学びます。	2・ 後	60	2			○
	○	インターンシ ップ3	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来 に関連のある職業体験を行います。	2・ 後	150	5			○
	○	校外研修3	IT 関連の展示会や講習会などに参加して最新の製 品や情報に触れます。	2・ 前	30	1			○
	○	校外研修4	IT 関連の展示会や講習会などに参加して最新の製 品や情報に触れます。	2・ 後	30	1			○
○		卒業制作1	在学中に学習したことを生かしてグループごとに テーマを決め、作品の製作や自由研究を行います。	2・ 前	30	1			○
○		卒業制作2	在学中に学習したことを生かしてグループごとに テーマを決め、作品の製作や自由研究を行います。	2・ 後	180	6			○
合計			53 科目	2760 時間(132 単位)					